

第3章 計画の実現に向けた仕組みづくり・基盤づくり

第1節 ひとを育てる～環境学習・環境教育の推進～

1 学校教育における環境学習・環境教育

1-1 身近な環境問題への取組の推進

県内の幼稚園・小学校・中学校・高等学校および特別支援学校では、豊かな自然環境の中で行うさまざまな体験活動を通して、自然の大切さを学び、身近な環境問題に関心を持つことができる児童生徒の育成を図っています。また、家庭・地域社会や民間団体との連携を深め、環境保全に関するボランティア活動の紹介やボランティア活動への参加意欲を高める取組を進めています。

(ア) 「学校環境デー」の取組

県内の学校・園では、「学校環境デー」（6月5日）を中心とした時期に、各学校が創意工夫ある活動を行うことを通して環境教育に取り組む意欲を一層高め、主体的によりよい環境づくりや環境に配慮した望ましい行動が取れる児童生徒の育成を図っています。

(イ) 県立学校における環境マネジメントの取組

四日市農芸高等学校ではISO14001認証の維持継続を図っており、先進的な環境教育および環境保全活動を実施しています。

また、他のすべての県立学校では簡易な「県立学校環境マネジメント」を作成し、平成17（2005）年4月から、環境教育および環境保全活動の充実を図っています。

2 地域や社会における環境学習・環境教育

2-1 環境教育・環境学習の充実

ア 環境教育・学習の推進

本県では、三重県環境学習情報センターを環境学習拠点施設として、環境教育・学習を推進するとともに、学校や社会においても、環境教育・学習を推進し、環境保全活動の普及啓発に努めています。

表3-1-1 三重県環境学習情報センターにおける環境教育・学習の状況（平成25年度）

区分	内容
センター主催講座	一般向けの講座の他、「インタープリター養成講座」、「PLT指導者養成セミナー」等の環境学習指導者養成のための講座や、工作や環境バスツアー等の夏休み子ども環境講座等、84講座（2,177人）を開講しました。
出前講座	県内小中高等学校等の授業や、公民館、市民活動団体の学習会等への出前講座を155回（8,817人）実施しました。
見学視察体験教室	県内小中高等学校等の社会見学受け入れや環境体験学習を55団体（2,337人）に実施しました。
その他イベント等	「Mie 子どもエコフェア」等のイベント開催や、市町等が実施する環境フェア等への出展参加を行いました。

イ 子どもエコクラブ活動支援

子どもエコクラブ活動は、子どもたちの将来にわたる環境保全への高い意識を醸成するため、平成7（1995）年6月から環境省によりはじめられました。県内でも環境の保全に取り組もうとする子どもが大人と一緒に家庭や地域で子どもエコクラブを結成し、環境に対する理解を深めるための学習・研究活動や美化活動、リサイクル活動などの実践運動に自主的に取り組んでいます。

子どもエコクラブ活動の定着と推進を図るため、各クラブのメンバー・サポーターの交流会や、活動を支える市町担当職員の研修会を開催するなど、子どもエコクラブ活動を支援しています。

また、県内の子どもエコクラブや地域の子供たちが楽しみながら環境について学ぶ場として「Mie 子どもエコフェア」を開催しました。

（平成25（2013）年度：7月20日・21日開催、来場者数4,000人）

平成25（2013）年度の会員数は、68クラブ14,229人となりました。

第3章 計画の実現に向けた仕組みづくり・基盤づくり

3 環境学習・環境教育の拠点施設の活用

3-1 三重県環境学習情報センターの充実

県民に開かれた環境教育・学習、情報受発信の拠点として各種講座、情報提供、展示等を充実させ、子どもから大人まで幅広く利用できる拠点施設として活用に努めています。

運営・管理には指定管理者制度を導入し、民間事業者の創意工夫を活用しながら一層効果の高い環境教育・環境学習の実施等を進めています。

表3-1-2 三重県環境学習情報センターでの環境教育に関する主な業務内容

- ・展示コーナーやライブラリーコーナーの整備、活用
- ・参加・体験型の環境講座、出前講座、交流事業等の実施
- ・地域の活動リーダーや環境学習指導者等の養成
- ・ホームページ、情報誌、メールマガジン等を活用した環境教育に係る情報の発信
- ・県民、市民活動団体、企業との協働連携

3-2 三重県民の森および上野森林公園の活用

自然とのふれあいの場を提供するために、県民が自ら体験することができる多様で豊かな森林を創造し、広く県民が身近に憩い、学び、楽しむことのできる三重県民の森と三重県上野森林公園を設置しており、環境教育・環境学習の拠点施設としても活用されています。

3-3 三重県総合博物館（Mie Mu）の活用

三重県総合博物館（MieMu）では、三重の自然と歴史・文化について、誰もが主体的に学び、交流できる場となることで、環境学習や自然環境の保全のための人材育成支援の役割を果たすこととしています。このための取組として、県民・利用者が主体的に活動する組織として三重県総合博物館ミュージアムパートナー制度を整備しました。

3-4 地域にある環境資源を活かした環境教育施設の整備

ア 宮川流域エコミュージアム事業の推進

この事業では、流域案内人として登録されている人たちが、宮川流域がもつさまざまな魅力

（自然、歴史、文化、産業、暮らし等）を、地域の人や訪れた人に紹介しています。

宮川流域ルネッサンス協議会およびエコミュージアムセンター宮川流域交流館では、流域案内人が企画するイベントや宮川流域の情報を提供しています。

表3-1-3 宮川流域エコミュージアム関連施設一覧

施設名	HPアドレス	所在地
宮川流域ルネッサンス協議会	http://www.miyarune.jp/	伊勢市
エコミュージアムセンター宮川流域交流館たいぎ	http://www.miyarune.jp/eco/taiki/	大紀町

イ ビジターセンターの整備

ビジターセンター（博物展示施設）では、自然公園の地形、地質、動物、植物、歴史等を公園利用者が容易に理解できるよう解説または実物標本、模型、写真、映像、図表などを用いた展示を行っています。

表3-1-4 ビジターセンター一覧表

自然公園名	施設名	所在地
伊勢志摩国立公園	鳥羽ビジターセンター	鳥羽市
	登茂山ビジターセンター	志摩市
	横山ビジターセンター	志摩市

3章 1節

ひとを育てる環境学習・環境教育の推進